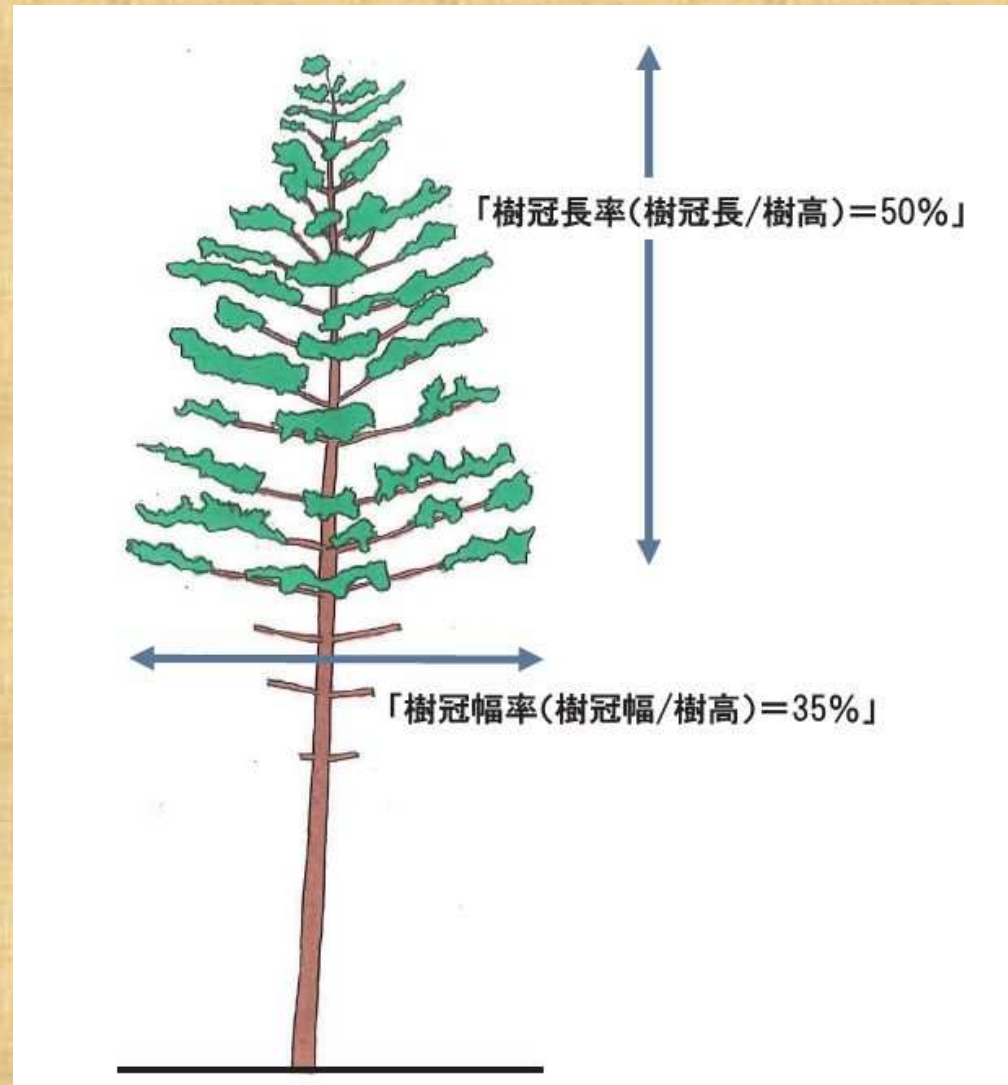


令和5年度 弓ヶ浜・白砂青松そだて隊活動報告会

目指すマツ林の姿と今後必要な施業

鳥取県西部総合事務所
農林局農林業振興課

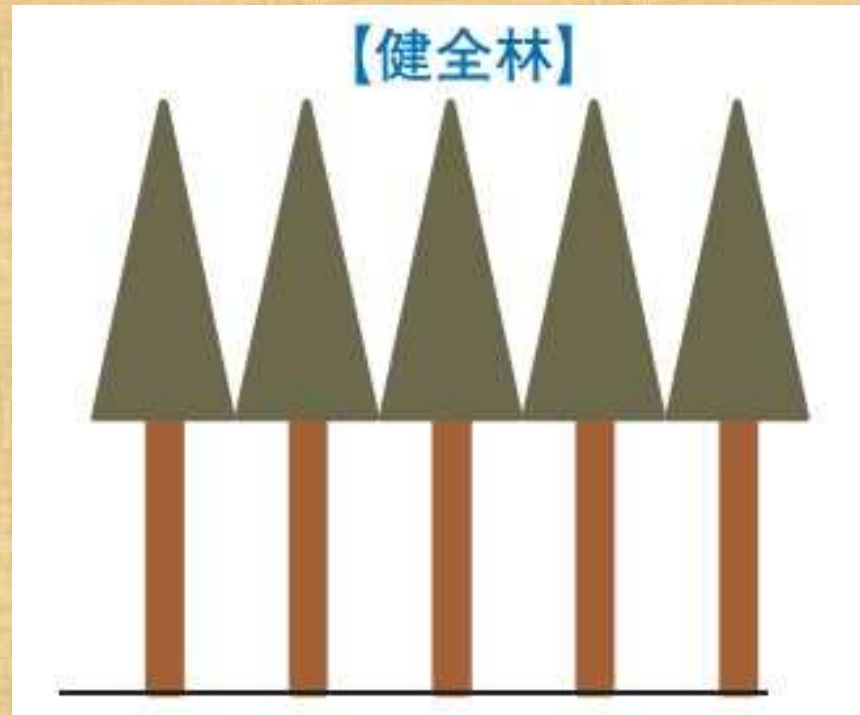
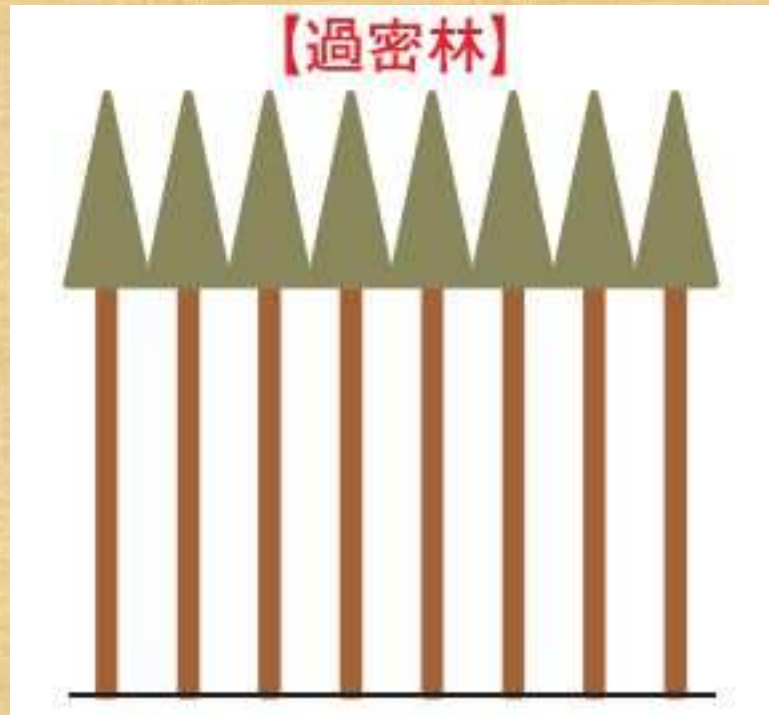
理想的な樹形の目安



津波被害軽減機能を考慮した海岸林造成の手引き—海岸林を造成・管理する実務者のために—

(独立行政法人 森林総合研究所 東北支所) より

密度管理の違いによるイメージ



密度が高いと・・・

- 枝が枯れ上がる = 枝葉が少なくなる
- 幹が細くなる



- 気象害（冠雪害）に弱くなる
- 防風、防砂、防潮機能等が弱くなる

津波被害軽減機能を考慮した海岸林造成の手引き—海岸林を造成・管理する実務者のために—

（独立行政法人 森林総合研究所 東北支所） より

今後の作業

R4作業前（県実施）



R4作業後（県実施）



今後、県の事業で除伐や間伐を実施予定。

- ・ 汀線に平行になるように（海風を防ぐため）列状の伐採を3回程度実施する。
- ・ その後、優勢木の中から将来残す木（仕立て木）を選び、その成長を妨げるような個体を選択して伐採する。

適正な密度の例（秋田県秋田市）



平均樹高9.5m 平均胸高直径16.6cm 立木密度750本/ha 平均樹冠長率51.5%

津波被害軽減機能を考慮した海岸林造成の手引き—海岸林を造成・管理する実務者のために—

（独立行政法人 森林総合研究所 東北支所） より